



図4 KJ法の結果

これらのデータを元に GUNGEN など で KJ 法を行 い (図 4) , その結果を GMemo に格納する.

4. GUNGEN-Spiral II

(1) アイディア収集に iPod touch (図 5) もしくは iPhone を使用する. これらは MP3 プレーヤーや携帯電話としても用いることができるため, 気軽に携帯でき, 直接操作ができるため操作が親しみやすいからである.

(2) 収集したデータを wiki など で共有する.

(3) 直接操作が可能なテーブルトップインタフェース上で KJ 法を行う [7].

(4) KJ 法の結果を iPod touch や iPhone に格納する. この上でも KJ 法を行えるようにする.



図5 iPod touch の画面

5. おわりに

今後, GUNGEN-Spiral II を順次実装していく予定である.

謝辞

本研究の一部は日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 (B) 20300047, 「既存の言語を越える絵文字チャットコミュニケーションの構築とその応用」) による.

参考文献

- [1] J Munemori and Y Nagasawa: Development and trial of groupware for organizational design and management: distributed and cooperative KJ method support system, Information and Software Technology, Vol.33, No. 4, pp.259-264 (1991).
- [2] 由井 隆也, 宗森 純, 長澤 庸二: カード型データベースをもつ KJ 法一貫支援グループウェアの開発と適用, 情報処理学会論文誌, Vol.39, No.10, pp.2914-2926 (1998).
- [3] 吉野 孝, 宗森 純, 湯ノ口 万友, 泉 裕, 上原 哲太郎, 吉本 富士市: 携帯情報端末を用いた発想一貫支援システムの開発と適用, 情報処理学会論文誌, Vol.41, No.9, pp.2382-2393 (2000).
- [4] Jun Munemori, Takashi Yoshino, Kazutomo Yunokuchi: A Spiral-Type Idea Generation Method Support System for Sharing and Reusing Ideas among a Group, Proceedings of 2001 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC2001), pp.1898-1903 (2001).
- [5] 由井 隆也, 宗森 純: 研究グループの知的創造活動を支援する GUNGEN-SECI の表出化と連結化, 情報処理学会論文誌, Vol.48, No.1, pp.30-42 (2007).
- [6] 野中 郁次郎, 武内 弘高: 知識創造企業, 東洋経済新報社 (1996).
- [7] 大橋 誠, 伊藤 淳子, 宗森 純: テーブルトップインタフェースを用いた直接操作による発想支援システムの提案, 情報処理学会研究報告, 200-GN-66, pp.71-76 (2008).